

平成27年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年6月5日
東

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7265 URL http://www.eiken-kk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役工場長兼 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105
 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第2四半期の業績 (平成26年11月1日～平成27年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第2四半期	2,644	7.4	206	64.6	217	62.0	142	58.1
26年10月期第2四半期	2,462	11.2	125	62.5	134	50.2	90	34.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年10月期第2四半期	28.40		—					
26年10月期第2四半期	17.96		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第2四半期	5,199	3,882	74.7
26年10月期	5,028	3,789	75.4

(参考) 自己資本 27年10月期第2四半期 3,882百万円 26年10月期 3,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年10月期	—	0.00	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の業績予想 (平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	0.0	311	4.7	331	3.7	208	△2.4	41.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年10月期 2 Q	6,200,000株	26年10月期	7,200,000株
27年10月期 2 Q	1,182,328株	26年10月期	2,182,328株
27年10月期 2 Q	5,017,672株	26年10月期 2 Q	5,018,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策及び日本銀行による金融緩和政策等を背景に、円安・株価の上昇等により、企業収益の改善が進み、景気回復に明るい兆しがみられましたが、円安による原材料価格・物価上昇、欧州債務問題、ロシア経済の景気減速及び新興国の経済の停滞等、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、純正メーカーの交換用フィルターの販売攻勢が強いこと、ガソリンスタンドの減少及びセルフ化の影響で販売数量は減少しております。また、新興国で製造された安価な商品が増加し、激しい価格競争にも晒されており、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にありましたが、高性能オイルフィルター及び大型車用フィルターの拡販、円安を追い風に輸出拡大に注力しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億81百万円増加し、26億44百万円(前年同四半期比7.4%増)、売上高が増加したことが要因となり、営業利益は前年同四半期に比べ81百万円増加し、2億6百万円(前年同四半期比64.6%増)、経常利益は前年同四半期に比べ83百万円増加し、2億17百万円(前年同四半期比62.0%増)、四半期純利益は前年同四半期に比べ52百万円増加し、1億42百万円(前年同四半期比58.1%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は商社及びガソリンスタンド向けが減少しましたが、カーショップ向けが増加しました。輸出売上はヨーロッパ向けが減少しましたが、東南アジア向けが増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億54百万円増加し、24億85百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益は前年同四半期に比べ84百万円増加し、2億98百万円(前年同四半期比39.8%増)となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、バーナ部品の売上高が増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ27百万円増加し、1億58百万円(前年同四半期比21.1%増)、営業利益は、前年同四半期に比べ3百万円増加し、18百万円(前年同四半期比20.7%増)となりました。

(その他)

車載用加湿器、ティッシュケース及び縦型灰皿等の販売をしております。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ12万円増加し、43万円(前年同四半期比40.7%増)、営業損失は72万円(前年同四半期は営業損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて1億49百万円増加し、30億73百万円(前事業年度末比5.1%増)となりました。主な要因は、定期預金が増加したことにより現金及び預金が増加したこと、売上が増加したことにより受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度と比べて22百万円増加し、21億26百万円(前事業年度末比1.1%増)となりました。主な要因は、減価償却費を計上したことにより有形固定資産が44百万円減少したものの、時価が上昇したこと等により投資有価証券が増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて1億71百万円増加し、51億99百万円(前事業年度末比3.4%増)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて62百万円増加し、11億12百万円(前事業年度末比5.9%増)となりました。主な要因は、返済したことにより短期借入金が増加したこと、四半期純利益が増加したことにより未払法人税等が増加したこと及び第2四半期累計期間で賞与の支給がなかったことにより賞与引当金が増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて16百万円増加し、2億5百万円(前事業年度末比8.8%増)となりました。主な要因は、退職給付引当金が増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて78百万円増加し、13億17百万円(前事業年度末比6.4%増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて92百万円増加し、38億82百万円(前事業年度末比2.4%増)となりました。主な要因は、自己株式を消却したことにより利益剰余金及び自己株式がそれぞれ4億41百万円減少したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が75百万円減少したこと及び四半期純利益を1億42百万円計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の第2四半期累計期間末残高は、4億85百万円(前事業年度末比1億33百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が増加したこと、税引前四半期純利益が増加したこと、減価償却費が増加したこと及び賞与引当金の増加額が増加したことにより、3億46百万円の収入(前年同期比1億75百万円増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が増加したこと、定期預金の預入による支出が増加したこと、有形固定資産の取得による支出が増加したこと及び投資有価証券の取得による支出が増加したことにより、55百万円の支出(前年同期比7百万円増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額が増加したこと及び配当金の支払額が増加したことにより、1億59百万円の支出(前年同期比74百万円増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の業績予想に関する事項につきましては、平成26年12月12日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912,095	1,021,446
受取手形及び売掛金	1,268,863	1,286,698
電子記録債権	46,350	38,660
商品及び製品	457,196	454,804
仕掛品	34,289	35,466
原材料及び貯蔵品	153,805	155,261
その他	52,849	82,284
貸倒引当金	△1,331	△1,329
流動資産合計	2,924,118	3,073,292
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	789,167	764,925
その他（純額）	910,676	890,242
有形固定資産合計	1,699,843	1,655,167
無形固定資産		
無形固定資産	2,904	5,086
投資その他の資産		
その他	402,435	467,370
貸倒引当金	△926	△951
投資その他の資産合計	401,509	466,419
固定資産合計	2,104,257	2,126,674
資産合計	5,028,376	5,199,966

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	258,234	263,147
短期借入金	490,000	410,000
未払法人税等	80,755	134,100
賞与引当金	24,888	126,222
その他	196,451	179,221
流動負債合計	1,050,329	1,112,691
固定負債		
退職給付引当金	122,968	138,622
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	51,047	51,922
固定負債合計	188,575	205,104
負債合計	1,238,904	1,317,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,722,835	3,348,956
自己株式	△962,758	△521,597
株主資本合計	3,751,641	3,818,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,830	63,246
評価・換算差額等合計	37,830	63,246
純資産合計	3,789,471	3,882,171
負債純資産合計	5,028,376	5,199,966

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
売上高	2,462,781	2,644,621
売上原価	2,056,443	2,150,284
売上総利益	406,338	494,336
販売費及び一般管理費	280,839	287,704
営業利益	125,499	206,631
営業外収益		
受取利息	131	217
受取配当金	2,946	3,101
受取賃貸料	7,403	7,388
その他	1,640	2,826
営業外収益合計	12,122	13,533
営業外費用		
支払利息	1,579	1,352
売上割引	1,757	1,444
その他	147	26
営業外費用合計	3,485	2,823
経常利益	134,136	217,341
特別利益		
固定資産売却益	211	—
補助金収入	8,866	6,601
保険解約返戻金	3,515	—
特別利益合計	12,593	6,601
特別損失		
固定資産除却損	150	375
特別損失合計	150	375
税引前四半期純利益	146,578	223,567
法人税、住民税及び事業税	108,465	129,451
法人税等調整額	△52,023	△48,432
法人税等合計	56,442	81,018
四半期純利益	90,136	142,548

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	146,578	223,567
減価償却費	108,187	101,864
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,176	15,653
賞与引当金の増減額 (△は減少)	98,596	101,333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	107	23
受取利息及び受取配当金	△3,078	△3,318
支払利息	1,579	1,352
固定資産売却損益 (△は益)	△211	-
固定資産除却損	150	375
保険解約返戻金	△3,515	-
補助金収入	△8,866	△6,601
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,509	△9,762
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△47,624	△241
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,839	4,913
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,207	△18,255
その他	△5,881	2,762
小計	232,321	413,666
利息及び配当金の受取額	4,176	4,462
利息の支払額	△1,553	△1,363
法人税等の支払額	△77,270	△76,534
補助金の受取額	8,866	6,601
保険金の受取額	5,063	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,604	346,832
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△148,000	△148,000
定期預金の払戻による収入	172,000	172,000
有形固定資産の取得による支出	△74,669	△49,214
投資有価証券の取得による支出	-	△30,294
無形固定資産の取得による支出	-	△592
その他の支出	△1,192	△1,141
その他の収入	4,449	2,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,411	△55,050
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	△80,000
自己株式の取得による支出	△204	-
リース債務の返済による支出	△3,705	△3,705
配当金の支払額	△60,203	△75,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,113	△159,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	188	600
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	40,267	133,350
現金及び現金同等物の期首残高	205,725	352,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	245,992	485,446

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)

平成26年12月15日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を決議し、平成27年1月15日に普通株式1,000,000株を消却しました。

この消却により、当第2四半期累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ441,161千円減少しております。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,485,995	158,189	2,644,184	436	2,644,621	—	2,644,621
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,485,995	158,189	2,644,184	436	2,644,621	—	2,644,621
セグメント利益 又は損失(△)	298,053	18,339	316,392	△ 725	315,666	△109,035	206,631

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上